

システムに関連するSEO施策項目(サンプル)

システムに関連するSEO施策項目

下記が現在いただきました情報からご提案・ご検討いただきたい内容になります。

- SEOに関連するサーバ・システム設計
- タイトル・ディスクリプションの動的対策
- URLの静的化
- 動的なパンくずリストによる内部リンク強化

その他、現在の構成をヒアリングさせていただきながら、今後のシステム側で対応が可能な関係する**SEO**施策につきましてご提案させていただければ幸いです。



- SEOに関連するサーバー・システム設計



ページ表示スピードは上位表示の指標とされています。
特にカテゴリトップなどの主要ページについては、速度の向上
が可能か検討していただきたいです。

目標値: レスポンス2.0秒以内

レスポンス速度向上の方法①

■ javascriptの読み込み最適化

javascriptは非同期で直列で読み込まれている場合、複数のjavascriptの数だけ表示までに時間がかかります。

[お勧めする対策]

複数のjs読み込みをできる限りまとめる(httpリクエスト削減)

type="text/javascript"の省略(HTML5ではデフォルトでtypeがこの記述でしよりされるので、若干のファイルサイズ軽減につながります。)

他の大きな要因が優先となりますが、可能であればご対応頂きたい項目となります。

レスpons速度向上の方法②

■ 各ファイルの読み込み順序の最適化

画面の描画に関わるjsやcssなどの読み込み順序を最適化していただくことをお勧めいたします。

```
<html>
  <head>
    1.CSSなどの読み込み
    2.描画系js読み込み
  </head>
  <body>
    3.その他js読み込み
  </body>
</html>
```

ページ表示速度向上を目的とした各ファイルの読み込み順序

レスpons速度向上の方法③

■ ページ本体の読み込み速度向上

現状、ページ本体の表示に時間がかかっています。



レスポンス速度向上の方法③-2

ページ本体の読み込み速度向上

可能な限り主要なページに関しては表示速度の向上を目指してください。

[お勧めする対策]

KVSの検討(memcached / mongoDB / Redis etc...)

処理途中で(flush()メソッドなどの利用)※ボトルネックとなっている処理の前にheadなどが吐き出せる場合、flush()メソッド等を利用して先にクライアントにソースを送り、CSSやjs等の読み込みをしてもらう方法です

→ページ本体の読み込み速度はSEOにもユーザビリティにも深く関わってくる内容になりますので、できる限り最適化を目指してください。

レスポンス速度向上の方法④

■ CSSの読み込み最適化

CSSは通常並列読み込みがされますが、@importなどを利用した場合、直列(非同期)での読み込みとなりページ表示速度の遅延原因となりますので、気をつけてください。

対策

CSSの読み込み時に@importを利用しない



- タイトル・ディスクリプションの動的対策

動的タイトル・ディスクリプション

データベースに格納されている属性をもとに、固有のタイトル・ディスクリプションを生成していただくのがお勧めです。

【お勧め例】

タイトル

「詳細名(お店・投稿タイトル) | カテゴリ名 | サイト名」

※カテゴリが段階を持っている場合は、小カテゴリを優先

ディスクリプション

※例えばDB側にお店の簡単な紹介文等のデータがある場合、それを先頭に表示して、残りは地域名、サイト名等を加えるのがお勧めです。



検索結果ページの表記方法

現在の検索結果

<title>サイト名 | 地域に密着した名店検索 | お店・施設</title>



引き継いでいる検索条件を組み込んだタイトルへ

<title>渋谷のお店・施設の検索結果 - |サイト名</title>

seoマスターの指標にもありますが、
必ず先頭から重要なキーワード順で表記してください。



- URLの静的化



URLの静的化①

Googleではユーザビリティの面も含めてシンプルなURLの構造を推奨しています。

地域選択

http://×××.com/shop_search_areagenre_result?mode=2&area_group=2&imap_id=E-0

お店詳細

<http://×××.com/shop?s=475b7d9a-0bc4-11e2-8f37-3cd92beca638>

[お勧めする対策]

現在の仕様にもよりますが、将来的に各パラメータをカテゴリアルファベット名で、URLを生成するような仕様への変更の検討をお勧めいたします。

例)http://×××.com/shop_search_areagenre_result/mode/sports/area/funabashi/map_id/E-0/

Googleと相性の良いURL構造

<https://support.google.com/webmasters/answer/76329?hl=ja>



URLの静的化②

お店詳細ページの各ページについてURLがそれぞれ縦割りになっているので、可能であればIDごとでの切り分けをご検討ください。

例)現在の**URL**構成

/shop_coupon?s=[お店ID]

【お勧めする構成例】

/shop/[お店ID]/

/shop/[お店ID]/menu/

/shop/[お店ID]/coupon/

/shop/[お店ID]/wordofmonth/

/shop/[お店ID]/information/

etc...



- 動的なパンくずリストによる内部リンク強化

動的なパンくずリストの実装

DB・リファラー情報を利用した内部リンク強化例としてお店ページまでのユーザーの遷移経緯やお店ページが持っている要素を利用してパンくずリストを実装

[確認事項]

- ・各詳細ページに属しているデータ
地域名・カテゴリ etc...
- ・リファラーによる実装が可能かどうか

カテゴリトップの強化

このレシピが登録されているカテゴリ

- ▶ [きょうの料理](#) > [海藻・乾物・こんにゃく](#) > [こんにゃく](#)
- ▶ [その他](#) > [おつまみ](#) > [日本酒に合うおつまみ](#)

このレシピの人気ランキング

- ▶ [酒](#) の人気検索で 5位

このレシピの関連キーワード

[こんにゃく](#) [だし](#) [胡麻油](#)

例)クックパッド
複数のパンくずリストでまんべんなくそれぞれのカテゴリトップが強化されています。

動的なパンくずリストの実装

お店の属性に対して、リンクを設置。

動的なパンくずの実装をお勧めいたします。

焼肉、駐車場あり、大人数OK…

→ リファラー情報から地域を経て本ページにたどり着いている場合、下記のようなパンくずを作成するのがお勧めです。

[千葉県船橋市習志野](#) >

[焼肉](#) | [駐車場あり](#) | [大人数OK](#) etc....

カテゴリトップの強化



詳細ページから他のページへのリンク構造を強化します

タグクラウドによる内部リンク強化

君津住宅,お客様,23年,安心,家作り,お客様,必要,お客様,一緒,私たち,思い,
家作り,地域,活性化,花火大会,市民祭り,参加,ジェフ千葉,千葉,オフィシャル
パートナー,千葉県,活性化,家造り,お話,前,お互い,信頼関係,家造り,重要,家
づくり,目,前,大変,不安,お客様,不安,ひとつひとつ,お手伝い,完成,家,お客様,
私ども,一番充実感,達成感

[illegible]

Web2.0を中心としたタグクラウドの表記例